

スクリーン架扇型M

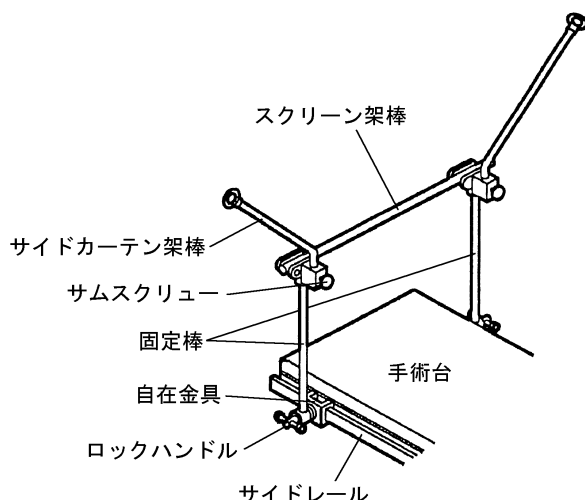
【禁忌・禁止】

〈使用方法〉

当社及びタカラ Belmont 製の高さ 32mm×板厚 9mm のサイドレールを使用する手術台以外には、取り付けて使用しないこと。[安全性が保証できないため]

【形状・構造及び原理等】

1) 外観図



2) 機器の仕様

- ①自在金具のロックハンドル操作により、固定棒を 465mm の範囲で昇降させることができます。
- ②自在金具のロックハンドル操作により、固定棒を縦方向に 360° 回転させることができます。
- ③スクリーン架棒を 270° 回転させることができます。
- ④サムスクリュー操作により、サイドカーテン架棒を着脱させることができます。
- ⑤許容負荷荷重
スクリーン架棒中央部に 70N (7.0kgf)

〈動作保証条件〉

下記の条件にて使用すること。(ただし、結露しないこと)
周囲温度 10～40℃ 相対湿度 30～75% 気圧 700～1060hPa

【使用目的又は効果】

本機は、手術台に付属するアクセサリで、手術台に取り付け、麻酔時に頭部と手術部位との仕切り用カーテン掛けに使用します。

【使用方法等】

1) 取付・設置（組立・据付）

- ①自在金具を手術台の左右のサイドレールに取り付け、上から固定棒を差し込み、左右の高さを合わせ、自在金具のハンドルを時計回りに廻して固定します。

2) 操作方法又は使用方法

- ①固定棒を患者の位置に合わせ、自在金具のロックハンドルを時計回りに廻して固定します。
- ②反対側のサイドレールに自在金具を取り付け、固定棒を患者の位置に合わせ、自在金具のロックハンドルを時計回りに廻して固定します。
- ③スクリーン架棒を回転させ、反対側の固定棒との先端に渡します。
- ④サムスクリューを反時計回りに廻してゆるめ、左右のサイドカーテン架棒を差し込み、サムスクリューを時計回りに廻して固定します。

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

- ①ロックハンドル及びサムスクリューが確実に固定されているか確認すること。確実に固定されていないまま使用しますと、機器が動いたり、落下するなどの思わぬ事故の原因になります。
- ②仕切り用カーテンを付けたままでロックハンドルを操作するときは、固定棒を支えながら操作すること。固定棒を支えずに操作しますと、固定棒が急激に曲がり、思わぬ事故の原因になります。
- ③サムスクリューを操作するときは、サイドカーテン架棒を支えながら操作すること。サイドカーテン架棒を支えずに操作しますと、サイドカーテン架棒が急激に曲がり、思わぬ事故の原因になります。
- ④スクリーン架棒中央部に許容負荷荷重 (7.0kgf) 以上の負荷を加えないこと。機器の破損の原因になります。
- ⑤使用後は清拭作業を行い、機器を清潔に保ち使用すること。[清拭作業が不十分な場合は、菌の発生により人体に影響を及ぼす場合があります。機器を清潔に保ちご使用ください。]
・使用可能な洗浄・消毒液の一例として、アルコール (70%)、4 級アンモニウム系・塩化ベンザルコニウム (0.1～0.2%) をご使用ください。
- ⑥金属腐食性の強い消毒液 (ポピドンヨード、次亜塩素酸ナトリウムなど) は使用しないこと。
[本体の腐食の防止]

【保管方法及び有効期間等】

〈保管方法〉

- ・保管環境

周囲温度 -20～60℃ 相対湿度 10～90% 気圧 500～1060hPa

〈耐用期間〉

本機の耐用期間は 10 年です。(自己認証 (当社データ) による)

※正規の使用法、保守点検、消耗品などの交換を行った

場合に限る。

【保守・点検に係る事項】

〈使用者による保守点検(日常点検)〉

- ・ サイドレールへの接続状態の確認。
- ・ 外観の破損状態の確認。
- ・ 取付状態の確認。
- ・ 各部が正確かつ安全に作動することの確認。
- ・ ゆるみ、ガタ、傾きなどの確認。

以上について点検を行い、少しでも「おかしいな？」と感じたらすぐに使用を中止すること。

しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に清掃を行った後、必ず機器が正常にかつ安全に作動することを確認すること。

〈業者による保守点検〉

業者による保守点検を実施する場合は、弊社または医療機器修理業者などの有資格者へ依頼してください。

●機器を廃棄するとき

機器や交換した部品を廃棄するときは、感染予防を十分行い、その時点での法規制に従い、適切な処理をしてください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 タカラメディカル株式会社 TEL : 06-6499-3461
販売業者